

どんな気持ちで、臨んだのかな？

運動集会を間近に控え、運動集会について、どう思っているか聞き合った時のことです。

前半では、「土曜日に予定通りやりたい」、「前を走る人の砂がかかって汚れるから、ちゃんと乾いたグラウンドでやりたい」といった話になりました。

ところが、聞き合いの後半に、Yさんが「6年生だけでなく、2年生にとっても年に1回きりの運動集会で、最後の運動集会になると思います。だから、どちらの学年にとっても、いい思い出になる運動集会にしたいと思います」と言い出しました。すると、Sさんが「2年生での全力でがんばる運動集会にしたいです」、Fさんが「運動集会で本気を出したいです。そのために、晴れてほしいです」と言い始めました。その後も、自分たちが精一杯がんばりたいという思いの話が続きました。最初は、服が汚れるといった話でしたが、自分たちがどのような心持ちで運動集会に臨みたいのかという内面的な話に展開していきました。私は、2年生がこのような内容の話を交流できることに驚かされました。

運動集会当日。子供たちの思いが天に届いたのでしょうか。晴天の下、子供たちが張り切って次々と競技を楽しむ姿がグラウンドいっぱいに見られました。

なかでも、「ダンシング玉入れ」には、1学期後半から練習に取り組んできたこともあり、子供たちの強い思い入れがありました。本番では、どちらの団も、1個でも多くかごの中に入れようと、競い合いました。曲に合わせて行うダンスも、思いきり跳びはねて、観客のみなさんに元気な気持ちが伝わるように演技しました。

運動集会をとっても楽しみにしていたAさん。運動が大好きで、100m走で腕を力一杯振って走ることと、「ダンシング玉入れ」でたくさんの玉を入れることを目当てに、運動集会に臨みました。

Aさんの振り返りです。

ぼくは、ダンシング玉入れで、玉を6こ入れたかったけれど、ぼくが入れた玉の数は、4こでした。だけど、ぼくは、自分の力を出し切って玉を入れることができました。けっかは、赤だんが20こ、青だんが27こでした。ぼくたちは、赤だんにまけたけれど、みんなでがんばって入れることができたので、うれしく思いました。





まず、目当てを立て、それに向かってみんな
で練習したことで、Aさんは自分の力を十分に
出し切ることができたのでしょう。結果も大切
だけれども、みんなで力を合わせることで
きたことにも満足できたAさんは、とてもすてき
に思えました。

特別な形で行われた運動集会だったにもか
わらず、子供たちのいろいろな思いが詰まった
集会になったことで、見る人に楽しんでもらえ
る運動集会になったと思いました。

科学を楽しむ時間を

○ 「音」って、なあに？

目に見えない「音」とはどのようなものなのか、実験を通して、「見える化」して楽し
んでもらおうと、県総合教育センターから指導員さんが来校されました。

初めに、太鼓の上にたくさんの小さな発泡スチロールを置いて、下からばちで叩くと、
どうなるかという実験でした。叩く役に選ばれたRさんは、緊張しながら叩きました。



するとどうでしょう。太鼓の上方に向かって、
たくさんの発泡スチロールが踊り出したではあ
りませんか。子供たちからは、「おおー！」とい
う感動の声が、聞かれました。その後も、音叉
の響きを手で感じる実験や糸電話を作って声を
聞き合う実験が続きました。全ての実験が、子
供たちの科学に対する興味をくすぐるものばか
りでした。

○ 水辺の生き物たちがいっぱい

子供たちが楽しみにしていた、今年度初めての
校外学習。スクールバスで、魚津水族館に行きま
した。とても清々しい晴天で、楽しい気持ち
が教室いっぱいにあふれていました。

川に住む生き物コーナーでは、ニジマスのきれ
いな色に見入っている子供たちがいました。海の
生き物コーナーでは、悠々と回遊する大きいブリ
やエイの姿に、なかなかその場から離れようと
はしませんでした。



その後も、電気ウナギやピラニア、オオサンショウウオなど、珍しい生き物たちを堪
能していました。最後に、20分ほどスケッチをして、出口で記念撮影をしました。学
校では、水族館で感じたことやスケッチを生かして作品づくりに取り組みました。学習
発表会にて、展示する予定です。なかなかの大作が出来上がりました。ご期待ください。